

年

組 名前

2020年5月5日付県内版

- 次の「ヤマトタケルと白鳥」という民話のリード文を書いてみましょう。リード文とは、おおまかな内容をまとめたものです。

日本神話の英雄ヤマトタケルが、現在の滋賀、岐阜両県にまたがる伊吹山の賊の征伐に行った時のことだ。伊吹山麓で蛇に足をかまれてしまった。傷は激しく痛み、川で足を洗っていたところ、目の前に一羽の白い鳥が現れた。

ヤマトタケルは「白鳥よ、尾張まで連れて行ってほしい」と頼んだ。すると白鳥はうなずき、ヤマトタケルを乗せて、現在の名古屋市守山区と瀬戸市との境に位置する東谷山までやって来た。

問1：次の確認をしましょう。

- ・いつ：
- ・どこで：
- ・だれが：
- ・何を（何に）：
- ・どうした（どうされた）：



## 【活用にあたって】

事実を客観的に書く作文は簡単そうですが、実際に書いてみるとなかなか書けません。新聞記事の書き方を参考にすることです。

記事では、大事な情報が先に書かれています。第一段落に一番大事な情報が書かれています。また記事全体が要約されています。「いつ、どこで、だれが、何を、どうした」という情報を入れるようにすると、まとめやすくなります。

### 解答例

問1：・いつ：賊の征伐に行った時

・どこで：伊吹山麓

・だれが：ヤマトタケル

・何を（何に）：白鳥に

・どうした（どうされた）：運んでもらった

問2：ヤマトタケルは、賊の征伐に行った時、伊吹山麓で蛇に足をかまれたが、白鳥に尾張の東谷山の麓まで運んでもらった。(54字)